

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄に関する第三国の動向（韓国）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43848

アグニエ副大統領
訪韓

<p>方 ヒ ビ</p> <p>万大 傳版</p> <p>大臣官房外儀官 務次 典房 臣官密書長 儀總人電厚計 會營給</p> <p>資 參調企 員 移 參領旅移 長</p> <p>ア 參地中東 長 北二西</p> <p>米 參北二東 長</p> <p>參一 南</p> <p>參西東洋 長 西東 三</p> <p>江 參審近ア 長 次總經國方</p> <p>參貿統 經 參政技二 國一理</p> <p>參 參條協規 長 參政經科 長 軍社專 長 參道内外 文</p>	<p>注 意</p> <p>PK 8/11 P. follow</p> <p>注意</p> <p>PK 8/11 P. follow</p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。</p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。</p>	<p>電信写</p> <p>198</p> <p>電信写</p> <p>42046</p> <p>主 管 韓 國 本 省 發 着 アル</p> <p>主 管 韓 國 本 省 發 着 アル</p> <p>外 務 大 臣 殿 上川 大使 隨時代理大使 総領事 代理</p> <p>外 務 大 臣 殿 上川 大使 隨時代理大使 総領事 代理</p> <p>アグニユ一米副大統領訪韓</p> <p>第1092号 平 室急</p> <p>往電第1091号に関し</p> <p>26日付ゆう刊各紙及びラジオの報ずるところによれば、アグニユ副大統領は24日到着直後のれい訪のほか、3回にわたり延べ9時間におよぶボク大統領との会談を含む韓国訪問を終え。午後1時金浦空港出発韓韓した。共同声明は發表されなかつたが、セイガ台スポーツマンの發表次のとおり。</p> <p>ボク大統領と「ア」副大統領は真けんな討議と協議を行つた。討議を通じて両首のうは、昨韓米軍の削減と韓国安保に関する双方の立場に關し、相互理解を深めることができた。またこのような両国政府間の真けんな討議は今後とも継続されることに意見の一致をみた。そのため両者は韓国軍の防衛能力を増強させるための両国政府代表間における装備改善に関する会談をますます促進させるべきであることに合意した。さらに、韓国安保問題と駐韓米軍の削減問題に関する協議を同時に開始することとした。</p> <p>添付 レ</p> <p>外 務 省</p>
--	--	---

注

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信寫

GTINOもとつていない

3. 最近の対韓軍事援助は1968年度1.5億ドル+1億ドル。1969、1970年度はそれぞれ1.4億ドルでアルームフィールド案の追加軍援5000万ドルはこの1.4億ドルの内数である。1971年度は1.4億ドルというワクはすでに決定しているが、その支出法案は未だ出されていない。

4. 在韓米軍2万名を削減することは、本質的にすでに処置されているので、1971年の6月末までに減縮しなければならないことになつてゐる。

米韓の防衛協定では在韓米軍の兵力について取扱められていないので、米国は米韓防衛協定の義務に基づき自国の判断で駐韓兵力を決定することができる。韓国側は在韓米軍の最小限兵力を協定することを強く要求しているところ。米国はNATOに対してはその師団数を合意しているが、その他の国等との防衛条約では、のような取扱めをしていないので、韓国のみの特別扱いは難かしいと思う。

5. 韓米防衛条約の改定問題（侵略があつた場合直ちに有効な対策を講ずるといふ条項を入れること）についても、他の国との関係からやはり難しい問題である。

17

注

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信

番号(TA) 4204
主管
70年8月26日19時45分 韓國
70年8月26日20時23分 本省發着 了也

外務大臣殿 上の大使
臨時代理大使 総領事 代理
副
アグニエ一米大統領訪韓

第1098号 隆秘 至急

往電第1092号に關し

アグニュー副大統領の出発後、サイコウシニ外務部長官特別補佐官（本件担当）が本官に内話せるところ次のとおり規。ボク大統領は「ア」副大統領との会談において、韓国軍の装備改善に関する計画が完成し、かつ少くともその一部が実行に移されるまでは、在韓米軍の削減に関する討議は行わないという従来からの強こうな立場をひれきした。これに対し「ア」副大統領は近い将来2万人を削減するという方針は米国政府の決定であつて、NEGOTIABILITATIではなく、韓国軍装備改善の点はこれを保証するとの米側の態度を述べた。両者それぞれ國頭から自との態度を主張してゆづらなかつたのが会談がかくも長びいた原因である。

2. 最後に、ボク大統領から(1)韓国軍の装備改善問題(2)駐韓米軍削減問題(3)韓国の安全保障問題(韓米防衛条約の強化を含む)をへい行して同時に行う案が提案され。これに「アントン副大統領が同意した。従つてこの点

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

が今次会談の成果である。今後はソウルにおける軍事専門家間において、既に進行中の韓国軍装備改善の問題についての協議のほかに、米軍削減の問題に関する協議も開始されることとなり。更に上記第3点については当地米国大使館と打合せに入ることとなる。

3. 「ア」副大統領は24日のソウル市庁前の声明で述べた両国間の相互防衛条約の履行、第4飛行団の韓国への移駐。しおうかい機の提供等の事項については、ボク大統領との会談においてこれをくり返して述べた。米に転電した。

(了)

外務省

機密

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

202

外取事外外韓官
務局 典房
次次
臣官官審密長長
儀鑑人電厚許
儀鑑文會常給
國寶
參謀析企
長演
移參領旅移
長

參進中東
北西
米臺
參北北保
中
參一二
南
參西東洋
長

近
參審近ア
長
漢總經國方
長
參貢統三
經
參政技二
國一環
長
參參協規
長
參政經科
長
參道内外
長
文
長
一一二

主 管
總番号(TA) 42232
70年8月27日19時35分 韓國
70年月27日20時40分 本省
外務大臣殿 上11 大使 臨時代理大使 総領事 代理
發着 A北

アクニュー米副大統領訪韓

第1102号 平至急

往電第1098号に關し

27日付朝刊各紙は冒頭往電既報のセイガ台スポーツマンの発表を中心とし、「ア」副大統領訪韓最終日の動き等を大々的に報ずると共に、消そく筋が伝えるところとして駐韓米軍削減問題と軍装備改善問題とを平行して協議することに同意したのは、韓国側の譲歩ではない。北からのきょうのについても、米国はこれを過小評価し、韓国側と見解が対立した。装備改善についても米韓双方の意見には大きな開きがあり、合意が得られなかつた。また米側は2万5千名以上の削減をしないとは確約しなかつたうんぬんと報じている。なお在韓米軍放送は「ア」がソウルから台北への機中での記者会見において、「在韓米軍は韓国軍の装備改善が終れば残らず撤兵する。装備改善には約5年を要しよう」と述べた旨報じた。(26日よるのニュースで数回同趣旨を放送した。)この記者会見に触れている当地紙においても、この部分は報ぜられていない。(了)

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

だといえよう。説得のための特使とも見られた「ア」をここまで引込んだのはボク大統領のどう直にしてねばり強い性格とその努力によるとの見方もあるが。ともかく韓国側としてはその真意を米国側に理解せしめ、従来の見解の差を大はばに解消し、かつては米国側の誠意をくみとることもできた一方、米国側としては減縮問題の同時協議について韓国側の好意ある同意をとりつけ得た点、双方にとり成績があつたものと評価されている。残る問題はこれらのハイレベルの会談の成程であり。そのカギは冒頭に示された両国の認識度の差異を一日も早くせばめるとある。

(2) 特説「韓米間の見解の相違のていへん」

今次「ア」の来韓が両国間の見解を完全に接近せしめ得ぬままに終つたことは、問題点の深刻さの一たんをうかがわせるに足りよう。今次会談から推して、韓国政府として余程の努力と重大決意をもつて対米交渉に臨まなければ、見解の相違の調整は今後ともむずかしいものと見なければならぬ。

もし韓国が米国に対する信義と信頼感が相手方の打算によるひややかな反応でしか答えられないならば韓国民はこれをはい信と受取り、うらみをいだくこと明らかである。韓国民はその信義と信頼が米国側から同様の感覚とさせよう

-3-

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

でもつて答えられるよう期待しております。いつまでも他人に依存し続けることを願つているものではない。この理解がなければ米国はアジアにおける権益は維持され難くなろう。ニクソン行政府がけん摶的反戦論者と対決するゆう気を持つよう促してやまない。(了)

外務省

注

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信

卷之三

611

總番号(TA) 42392
70年8月27日22時20
70年8月28日11時40

主
第
一
集
新
編
著
省
國
米

外務大臣殿 下用 大使 隨時代代理大使 総領事 代理
アグニエ副大統領の韓國訪問(米側内話)

第2493号
機密

27日國務省韓國部長レイナードはマタノに対し次のとおり述べた趣。

）。在韓米軍さく減問題について将来の完全撤兵を予見する趣旨のアグニュー副大統領の発言がいかなるコンテクストにおいて韓国側に伝えられたものかは会談録詳細未掲載の現在十分確かではないが、韓国側はかねてより完全自立の防衛体制をじゅ立したいとの希望を表明しており。かかる希望の表明に対し、同副大統領より左様な体制が整つたあかつきには米国は全兵力の引きあげを行なうであろう旨述べたものと思われる。本件についての米国政府の立場はホワイト・ハウス当局が声明しているように現時点においては既に発表されている計画以上の追加撤兵を行なう計画は有しないということにある。米側としては今次訪問により韓国側が米軍さく減計画について、これに同意したとは言わないにしても、これが既定の事実であることを理解し、これについてもあえて詰合うことを拒否しないとの強度をとるに至つたことは進歩であると思っている。

參	地	中	東
長	北	西	堅
米	參	北	保
長		二	三
中	參	一	二
南			
審			
歐	參	西	東洋
長		西	三

近ア	參書近ア
長	次總經國方
經	參貿統三
長	參政技二
經協	國一理
長	參條協規
長	參政經科
長	軍社專
長	參道内外
長	一二
文長	

外務

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信室

2.（当方より韓国側の主張に対し、同副大統領が即座に回答できず、ホワイト。ハウスに訓令をあおぐ場面があつたと報道されているがいかがかと述べたのに對し）おそらく韓国側が既発表の米兵さく減計画以上のさく減は行わないとの約束を求めたのに對し、回答ありをホワイト。ハウスに確かめたのではないかと思う。

3. 対韓軍事援助については米国政府としては今後5年間にわたって韓国軍を SUBSTANTIALLY に近代化するため従来の規模以上の援助を行なう方針である旨を韓国側に伝えてあり。年間 140 百ドルの規模を上まわるとは確かであるが、5 年間に 30 億ドルという韓国側の要請はレアード長官の言うとおり非現実的と言わざるを得ない。

4. 攻撃があつた場合の対処措置に関して米側が米韓条約を改訂する意図を有しない旨はこれまで既に韓国側に伝えている。韓国側は条約改訂ができるなら交換書簡で規定してはどうかと言つているが、交換書簡において条約の内容のわくを越えることはできないことは物の理である。このほか韓国側は毎年行われる米韓国防当局首のう会談を抜張して政治軍事両面を扱う会談にしたいと述べたことがあり、米韓間の安保体制強化の一環として韓国側がこれまたに持出す可能性はある。

四三

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

電 信 写

5. F-4 戦闘機の韓国への移駐については同副大統領は太平洋地域における A S S E T S の中から派遣すると述べたに留まり。日本に所在するものを移動するとまで言つたわけではない。なお米軍としてはブエブロ号事件以来ざん定的に韓国に配置していた F-4 隊 2 SQUADRON 8 を来る 9 月 1 日ごろ韓国から引きあげる計画であり。これに替つてあらたに F-4 隊を 1 WING (3 SQUADRONS) 韓国に配備せんとするものである。また S-2 しょうかい機供与については先般のホノルル会談では 3 機供与の計画を伝えたが。これを上まわる数になることもあり得る。
韓国に転電した。

(了)

外務省

万大
博販

大臣
外務官

次務
典房

宦官
審密長

候閣人範厚計

候賀文會營給

因資
長

領移

參領旅

參領長

參地中東

長北東西

參北北

參南

參西東洋

長西東

參近ア

長國

次務經國方

參賀統

參政技二

國一理

參條協規

長國

參政急科

軍社專

參道内外

文長

一工

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

電 信 写

245

編番号 (TA) 42436
70 年 月 16 時 0 分 発
70 年 8 月 28 日 19 時 0 分 木 省 着 アジ
主管 落日 外務大臣 次務典房 時代理大使 総領事 代理

金山 大使

アグニー米副大統領の訪韓

第 1107 号 平至急

往電第 1103 号に関し

28 日朝刊各紙は、27 日行われた申文化公報部長官の記者会見を。アグニー副大統領の台北への途次における機中記者会見とならべて大々的に報じている。

申長官は韓国側としては、軍の装備改善が削減に先行すべきであるとの立場をけん持し、2 万の削減に同意はしなかつたと述べつつも、ボク大統領が 2 万を越える削減は将来の装備改善がなされるまでは考えられないと數度にわたり強調した旨明らかにし。さらに米側からは、軍の装備改善が完了する場合のニクソン・ドクトリン(適用)のアウトライインにつき一般的説明をうけたが、米側は 2 万以上の削減は当面行わないと述べたこと。また 5 年以内に完全撤収うんぬんの論議も行われなかつたことを明らかにした旨伝えている。他方「ア」の記者会見では、「ア」が韓国軍の装備改善が終り、十分な防衛力等が備われば一それには約 5 年は要するだろうが一米軍は全然必要になるから残ら

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

す撤兵できるように取り組みたいとの希望をボク大統領にそつ直に述べておいた。韓国軍の装備改善は駐留軍削減の前提条件ではないうんぬんと語った旨報じている。

(丁)

外務省



五六
博報

大臣
外務官

務務
次次

臣官宣達審長提

儀綱人電厚計

儀文會管給

儀

資
長

訓析金

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

長
領

移
長

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

2. 自分達は米国が韓国を放棄しようとしているのではないかという疑問も持つたことも事実である。大統領は「太國の間にはさまれて、その道路となるような歴史的なひげきをくり返えすよりはむしろせいぜい中立的な政策に転換すべきであろう」とじょうだんをいわれたが、これは單なるわらい話ではなかつた。

3. 「ア」副大統領が訪韓する前にも、ボク大統領の意向は十分米側に伝えてあつた。それで米側はレスラム公使やリチャードソン CIA隊長等を自分のところにも派遣して大統領を説得してくれるよう依頼されたが、自分は「説得だけではどうにもならない」と回答しておいた。

4. 「ア」副大統領の訪韓はこれを要約すればボク大統領を説得するためにあつたといい得る。

5. 韓国が提案した30億ドルの装備改善計画は金額そのものはラフな数であるが、一応積上げの根拠があり、韓国民を納得させ得る最少限度の要請であると主張した。

会談はこの30億ドルと米側のふくあんである10億ドルとの開きが基本的な障害となつてゐたと思う。会談時間がながかつたのは「ア」副大統領が本国から調令を受けたりする時間がながかつたからであり、会談そのものはしんりんかつ友好的に進められた。

感情的な対立はなかつたと思う。

6. 今後は問題を軍、政両面からの実務者会談に引継ぐこと

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

となるが、自分の判断としては裝備改善のためには30億ドルと10億ドルの中間の線で相互に妥協し、該軍も2万名を削減するかが、現在ある米軍しき単位は減らさない（師団はそのまま残し、師団内の人員を減らし、この減った兵員を KATUSA で補う）という線で落着くのではないかと見、かつその解決法を期待している。

7. 何れにしろ、米軍が今後5年位の間に韓国から大部分が引あげることは避けられないし、軍事援助もそのころには打切られるであろうから、韓国としては今からその対策を十分検討しておくべきであると思う。

なお、ヴィニートナム派遣韓国軍を引あげる問題は今回は討議されなかつた。韓国としてはこの問題を持出して韓米関係を更に悪化させることを全く望んでいなかつた。（了）

—3—

ソアニ
万大
博阪

大政事外外議官
次次
典房
臣官密密長
儀經人電厚計
儀會文首給

資長
領移
參領旅移
長

參地中東
長
北東西
參北保
中南
參一二
參西京洋
長
西東
三三

ア星
次總經國方
參貿統
參政技二
國一連
參條協規
長
參政密科
長
軍社專
參道内外
文長
一二

電信写

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

70年月日 17時30分 聖 國 發
70年月日 22時55分 本 省 着 アル
外務大臣 告川 大使 [臨時代理大使] 総領事 代理
アグニエー米副大統領訪韓

第1110号 極秘 至急

往電第1109号に關し

28日在韓米大使館政治担当ビーターズ参事官が本件に關し、ノタに語つたところ次のとおりの趣。

1. 「ア」訪韓によるボク大統領との会談によつて、始めて韓国側が駐韓米軍削減問題につき米側と協議するようになつたことは、相互理解が深まつたためであり、事態の改善である。既に事務レベルでのフローラップは始められている。しかしボク大統領は、米軍の行動に対し韓国に拒否権があるかのように考え違いをしているのではないかと思う。韓国軍を将来南ベトナムから撤兵するとき、チュー一大統領が拒否できるであろうか。

2. 米の防衛公約を改めて文書で、しかも即時かい入をうたつてコミットせよとのボク大統領の要請も、議会の承認を得られる見通しもないので拒否した。またこれだけ何度もコミットメントは守ると公的に述べ、「ア」も到着声明で明言しているのに、それを更に文書でかけといわれると

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

米国を信頼していないのかといいたくなる。

3. 30億ドルに上る特別軍事援助の要求うんぬんの報道はあまり根拠がない。問題は韓国が必要とする HARDWARE の量であり、それらをいくばくに評価するかは別問題である（たとえば F-4 ファントムは新品約 250 万ドルであるが、既製品で若干部品が不足しているものを補じようして完全なものに修復する場合、20 万ドルで引渡せるかも知れない。M-16 小じゅうにしても新品は 1,250 ドルだが、余じようの中古品であれば 5 ドルの運賃だけで届くものであろう）。更に米としては、先方が高度の近代兵器を多量に入手すればその維持費が軍事予算を大きくぼう張させることになり、財政的考慮も重要だとアドバイスしている。

4. 今回の会談の実質部分における韓国側発言者はボク大統領ただ一人であつた。公式訪問を行つた米副大統領をボク大統領がちゅう食ぬきて 6 時間もすわらせて会談したことはおどろくべき異例なことであつた。米側は事前に数ヶ月にわたり米国の国内事情とニクソン・ドクトリンの実施につき、いろいろな機会にボク大統領の理解を得るよう最大の努力をしたが、ボク大統領に無視された。正確な情報が十分に部下からとどかなかつたのではないかと心配される。そして長時間の会談となつたが、韓国側は実益を得なかつた。ボク大統領一人で米側の圧力にてい抗してがん

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

張つたといふ国内むけのデモンストレーションの効果はあつたといふことになろうか。

5. それにしても自分達が最も心配するのは今回のボク。「ア」会談の不穏が、米本国特に議会の対韓感情を弱らせ、韓国のために働きうとしている一部議員の士気をくじき。更に一ばんの問題は國務省の立場を困難にするのではないかということである。ボク大統領の態度が今後もおし通されるならば、韓米関係は弱らしく、韓国の得られる実益は却て減少することがゆう嘆される。

米に転電した。(ア)